

第1号古墳出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00543 132	須恵器 高坏	周溝内 破片	高2.0 底(14.0)	還元・並・灰・硬・砂粒	脚部片。「ハ」の字に大きく開く。口唇部は内湾する。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
10-00544 132	須恵器 高坏	周溝内 破片	底(13.0)	密・中・締・灰・白色粒子・白色鉄 物粒子	轆轤成形右回転。「ハ」の字に開く。器厚は薄い。	乗附産か
10-00545 132	須恵器 高坏	39-D-19 破片	高3.0 底(13.7)	還元・並・灰・硬・砂粒	脚部片。「ハ」の字に開く。口唇部は直立し尖る。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
10-00546 132	須恵器 高坏	周溝内+表 土層 破片	高2.8 底(13.9)	還元・並・灰・硬・白粒・砂粒	脚部片。「ハ」の字に大きく開く。口唇部は直立気味。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
10-00550 132	須恵器 大形甕	周溝内 破片	厚0.4	並・還元・硬・暗灰・夾雑物微粒	細片のため詳細な器形は不分明。10-00552と同一固体。	東毛産か
10-00551 132	須恵器 甕	周溝内 破片	頸(4.0)	還元・硬・灰・密・細砂粒	頸部片。器厚は薄い。外面に二段の細かい波状文を施す。上部に段を持つ。轆轤右回転。	
10-00552 132	須恵器 大形甕	周溝内 破片	厚0.4	並・還元・硬・暗灰・夾雑物微粒	轆轤右回転成形。外面は鏝を当てながら成形している。条痕の単位は狭い。00547~550と同一固体。	
10-00553 132	須恵器 短頸壺	周溝内 破片	口(12.0) 高3.3	還元・並・灰・硬・黒粒・白粒	口縁部は直立し、口唇部は尖り気味。器厚は薄い。轆轤右回転成形。	
10-00554 132	須恵器 甕	周溝内 破片	厚0.8	密・中・締・暗灰・白色鉄物粒子	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、宛具は青海波文。	乗附産
10-00555 132	須恵器 瓶	周溝内 破片	厚0.3	密・中・締・暗灰・夾雑物微粒	紐作り後轆轤右回転成形。外面に厚く自然釉付着。	東海産か

第86号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00556 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・黒褐・白粒	口縁部の破片。地文のみ施文される。	繊維
10-00557 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・黒褐・白粒	口縁部の破片。半裁竹管によって、口縁部に文様を施文する。	繊維
10-00558 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	波状口縁部の破片。半裁竹管によって文様が施文される。	繊維
10-00559 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・透鉄	底部の破片。	繊維

第299号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00560	土師器 坏	覆土内 破片	高2.9	還元・並・褐灰・並	口縁部片。器厚は薄い。	

第94号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00561 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・黒褐・白粒・黒鉄	口縁部には小突起が施される。半裁竹管によって文様が施文される。	繊維
10-00562 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉄	胴部の破片。地文のみが施文される。	繊維
10-00563 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉄	胴部の破片。羽状縄文が施文される。	繊維
10-00564 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・暗褐・白粒・黒鉄	半裁竹管によって文様が施文される。	繊維
10-00565	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・2mm 大小礫	底部の破片。	繊維

第294号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00566	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鉄・透鉄	胴部の破片。地文のみが施文される。	

第301号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度量 目(cm) 目(g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘要
10-00567 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	繊維
10-00568 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鉄・赤粒	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	繊維
10-00569 133	縄文土器 深鉢	覆土内 1/3残	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・透鉄	口縁部から胴部の破片で、口縁部は半裁竹管によって文様を施文している。	繊維
10-00570 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鉄・赤粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00571 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉄・透鉄	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00572 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	口縁部の破片で、文様は地文のみが施文される。	繊維
10-00573 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉄	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00574 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維

第301号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00575 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒粒・透鈺	胴部の破片で、半裁竹管で沈線を施文する。	繊維
10-00576 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00577 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00578 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙	胴部下半から底部の破片で、胴部には羽状縄文が施文される。	繊維
20-00131 133	石器 石匙	覆土内 完形	長3.50 幅4.50 厚0.90 重10.3	チャート	つまみ部を有する横長のもので、刃部は直線的となる。	
20-00132 133	石器 搔器	覆土内 完形	長5.65 幅4.60 厚1.10 重24.4	砂岩	剝片の鋭い縁辺を刃部として使用したものの。	
20-00133 133	石器 磨石	覆土内 1/2残	長9.0 幅5.1 厚2.3 重133.6	粗粒輝石安山岩	表裏面を磨面として使用している。	

第305号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00579 133	土師器 甕	覆土内 破片	高4.9	酸・並・鈍黄橙・硬・赤粒・黒鈺・砂粒	肩部片。器厚は厚い。外面に研磨を施す。煤付着。	

第12105号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00580 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で半裁竹管によって集合沈線を施文する。	
10-00581 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈺 1mm大小礫	胴部の破片で半裁竹管によって集合沈線を施文する。	
10-00582 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・黒鈺・透鈺	沈線によって文様を施文する。	
20-00134 133	石器 石鏃	覆土内 完形	長2.35 幅2.2 厚0.5 重2.7	黒色安山岩	無茎平根三角形形式	

第120号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00583 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	口(22.0)	酸・硬・暗褐色・黒粒・白粒・黒鈺	口縁部には爪形状の刺突を細かく施文する。頸部のくびれ部分はなでて無文部をつくる。	繊維
10-00584 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00585 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈺・2mm大小礫	波状口縁部の破片で、波頂部には小突起がつく。口縁部は半裁竹管によって押し引き刺突沈線と沈線を施文する。	繊維
10-00586 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・明黄褐・白粒・黒鈺・赤粒・2~3mm大小礫	波状口縁部の破片で、波頂部には小突起がつく。口縁部は半裁竹管によって押し引き刺突沈線を施文する。	繊維
10-00587 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・橙・白粒・赤粒・1~2mm大小礫	口縁部は半裁竹管によって押し引き刺突沈線を施文する。	繊維
10-00588 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒鈺	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00589 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・明黄褐・白粒・赤粒・2mm大小礫	胴部の破片で半裁竹管によって集合沈線を施文する。	繊維
10-00590 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00591 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・暗灰黄・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で半裁竹管によって集合沈線を施文する。	繊維
10-00592 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・明褐・白粒・黒粒・黒鈺	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00593 133	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・暗灰黄・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で半裁竹管によって集合沈線を施文する。	繊維

第126号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00594 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒粒	小型のもので、地文のみが施文される。	繊維
10-00595 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒粒	口縁部がやや外湾し、頸部でくびれるもので、地文のみが施文される。	繊維
10-00596 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・褐・白粒・黒粒・黒鈺	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00597 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・褐・白粒・透鈺	口縁部の破片で、半裁竹管による押し引き刺突沈線を施文する。	繊維
10-00598 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・明褐・白粒・透鈺・赤粒	胴部の破片で、羽状縄文が施文される。	繊維
10-00599 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・明褐・白粒・黒粒・2~3mm大小礫	胴部の破片で、地文のみが施文される。	繊維

第144号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00600 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒粒	波状口縁で、口縁部には半裁竹管による沈線文を施文する。	繊維
10-00601 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈦・1～3 mm大小礫	口縁部には半裁竹管による沈線文を施文する。	繊維
10-00602 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒	半裁竹管による沈線文を施文する。	繊維
10-00603 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・黒粒・透鈦	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00604 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・橙・白粒・透鈦	口縁部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00605 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄褐・白粒	胴部の破片で羽状縄文を施文する。	繊維
10-00606 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・黒褐・白粒・透鈦	胴部の破片で羽状縄文を施文する。	繊維
10-00607 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・褐・白粒・黒粒・黒鈦	胴部の破片で地文のみが施文される。	繊維
10-00608 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・白鈦・黒粒	胴部の破片で羽状縄文を施文する。	繊維
10-00609 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・暗赤褐・白粒・透鈦	胴部下半から底部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00610 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈦・透鈦・ 2～5mm大小礫	底部の破片で、地文のみが施文される。	繊維
10-00611 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈦・透鈦	底部の破片で、地文のみが施文される。	繊維

第157号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00612	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈦	胴部の破片で蛇行沈線文を施文する。	

第186号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00613 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈦・透鈦	波状口縁部の破片で、沈線により文様を施文する。	
10-00614 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・黄橙・白粒・黒粒・黒鈦・ 2mm大小礫	波状口縁部の破片で、沈線により文様を施文する。	
10-00615 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈦・透鈦・ 1～2mm大小礫	波状口縁部の破片で、沈線により文様を施文する。	
10-00616 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈦	平行沈線文を施文する。	繊維
10-00617 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鈦	胴部の破片で、沈線を垂下させている。	
10-00618 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鈦・ 透鈦	胴部の破片で隆帯両側を沈線で大きくくで状に施文しており、隆帯の断面形は三角形となっている。	
10-00619 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈦・ 赤粒	微隆帯を文様として施文している。	
10-00620 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈦・透鈦	胴部の破片で2本1組の間を磨り消す沈線を垂下させている。	
10-00621 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鈦・ 1～2mm大小礫	胴上半に波状沈線文を施文する。	
10-00622 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・透鈦・赤粒	胴部の破片で、地文のみを施文する。	繊維
10-00623 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・黒粒・黒鈦・ 赤粒	頸部のくびれ部分から胴上半の破片で羽状縄文を施文する。	繊維
10-00624 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鈦・ 透鈦	地文は条線である。	
10-00625 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鈦・1～3 mm大小礫	胴部から底部の破片で、胴部は地文のみを施文する。	繊維
10-00626 134	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈦・透鈦	胴部から底部の破片で、胴部は地文のみを施文する。	繊維
20-00135 134	石器 搔器	覆土内 完形	長4.2 幅10.6 厚1.65 重79.9	黒色安山岩	素材の剥片の鋭い縁辺を利用し、調整剝離は最小限にとどめる。	
20-00136 134	石器 打製石斧	覆土内 1/2残	長6.9 幅4.0 厚1.6 重63.3	細粒輝石安山岩	基部は刃部の一部を欠損する。刃部には擦痕が残る。	
20-00137 134	石器 石皿	覆土内 1/2残	長15.75 幅23.25 厚12.2 重5,469	粗粒輝石安山岩	縁付きのもので、裏面には凹部が1箇所認められる。表裏面に敲打痕が残る。	
20-00138 134	石器 磨石	覆土内 完形	長10.2 幅8.2 厚5.5 重650.5	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので全体を磨っており、特に表裏面の範囲内には使用が顕著で器面が光沢を持つ。縁辺に敲打痕を確認。	

第188号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00627 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈦・透鈦	頸部のくびれ部分の破片で、地文のみを施文する。	繊維
10-00628 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・透鈦	胴部の破片で、地文のみを施文する。	繊維
10-00629 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍赤褐・白粒・透鈦	胴部の破片で、地文のみを施文する。	繊維

第188号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00630 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉄・透鉄	胴部の破片で、地文のみを施文する。	繊維
10-00631 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・灰黄褐・白粒・透鉄	頸部のくびれ部分の破片で、コンパス文を施文する。	繊維
10-00632 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・透鉄	胴部から底部の破片で、地文のみを施文する。	繊維
10-00633 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鉄	底部の小破片である。	繊維

第212号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00139 134	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長9.45 幅5.8 厚1.9 重96.9	黒色頁岩	基部の一部を欠損する。刃部は偏刃である。	

第213号B土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00634 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・黒鉄・透鉄	口縁部の破片である。沈線によって文様を施文している。	
10-00635 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鉄・透鉄	胴部の破片で間を磨り消す沈線文を垂下させている。	
10-00636 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鉄・透鉄・赤粒	胴部の破片で蛇行沈線文を施文する。	

第215号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00637 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・黒鉄・透鉄 1~2mm大小礫	底部に近い胴部の破片で、ごく浅いなで状の沈線を垂下させる。	

第219号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00638 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒鉄・透鉄	間を磨り消す沈線文を胴部に垂下させる。	
10-00639 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・黒鉄	間を磨り消す沈線文を胴部に垂下させる。	

第224号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00640 135	土師器 坏	覆土内 破片	高2.5	酸・並・鈍黄橙・並・細砂粒	口縁部片。器厚は厚い。小片のため器形は不明。	

第240号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00641	土師器 壺	破片	厚0.6	酸・並・明黄褐・並・砂粒	胴部片。器厚は薄い。小片のため器形は不明。	

第255号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00642 133	土師器 坏	覆土内 破片	口(14.0) 高2.8	酸・並・鈍褐・並・白粒・細砂粒	口縁部片。器厚は厚い。内面に研磨を施す。	
10-00643 133	土師器 坏	覆土内 破片	高3.4	酸・並・鈍褐・並・子角	口縁部片。外傾する。器厚は厚い。器面は滑らか。	
10-00644 133	須恵器 坏	覆土内 1/4残	高1.8 底(5.7)	還・粗・灰白・並・黒鉄・透鉄・白粒	底部の器厚は厚い。轆轤右回転成整形、底部は回転糸切り。	
10-00645	土師器 壺	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・黄灰・軟・	口縁部片。器厚はやや厚い。小片のため器形は不明。	

第258号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00646	須恵器 坏	覆土内 破片	高1.5	還・密・灰・硬・白粒	口縁部片。器厚は薄い。轆轤右回転成整形。小片のため器形は不明。	

第256号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00647	土師器 高坏	破片	厚0.5	酸・並・褐・並	脚部片。器厚は薄い。小片のため器形は不明。	

第260号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00648	須恵器 環	覆土内 破片	高2.2	還・並・灰・硬・細砂粒	口縁部片。器厚は薄い。轆轤右回転成整形。小片のため器形は不明。	
10-00649	土師器 甕	覆土内 破片	厚0.8	酸・粗・黄褐・並・・砂粒・透明粒子	胴部片。器厚は厚い。小片のため器形は不明。	
10-00650	須恵器 高環	覆土内 破片	高2.8	還・密・黄灰・硬・赤粒・白粒	脚部片。器厚は厚い。三方透。粘性が強い。	

第284号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00651	須恵器 坏乃至埴	覆土内 破片	厚0.6	酸・軟・鈍黄橙・粗・赤粒・角閃石	轆轤右回転成整形。	漆田産

第279号A土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00652 135	土師器 環	覆土内 破片	口(17.1) 高3.2	酸・並・鈍黄橙・並・チ角	口縁部片。器厚は薄く均質。口縁部は横撫で、内面は研磨を施す。	
10-00653 135	土師器 羽釜	覆土内 破片	口(21.9) 高5.5	酸・密・鈍黄橙・並・黒黧・透黧	口縁部片。僅かに内傾する。器厚は均質。口縁部は横撫で、銅貼りつけ。	

第282号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00654 135	須恵器 環	覆土内 破片	口(13.6) 高4.5	中・並・鈍黄橙・硬・黒黧・透黧	口縁部は外反する。器厚は均質。轆轤右回転成整形。轆轤目は明瞭。	
10-00655	須恵器 埴	覆土内 破片	高1.8	中・並・浅黄・並・黒黧	体部片。器厚は厚い。右回転轆轤成整形。	旧282号土坑
10-00656 135	須恵器 埴	覆土内 1/4残	高2.1 底(6.0)	還・並・灰・並・黒黧・白黧	器厚は均質。轆轤右回転成整形、付高台。	

第286号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00657 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒黧・透黧	胴部には沈線によって懸垂文を施文する。	
10-00658 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒黧・透黧・赤粒	胴部には沈線によって文様を施文する。	
20-00140 135	石器 打製石斧	覆土内 ほぼ完形	長10.8 幅4.70 厚1.55 重89.3	黒色頁岩	刃部のごく一部を欠損する。刃部は偏刃である。表裏面ともに原礫面は残さない。	

第12001号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00659 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・透黧	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
10-00660 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・明褐・白粒・黒粒・透黧	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
10-00661 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
10-00662 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・暗赤褐・白粒	口縁部の破片で、沈線によって文様を施文している。	繊維
10-00663 135	縄文土器 深鉢	覆土内 1/5残	底10.2	酸・硬・明赤褐・繊維含む・黒粒	胴過半と底部の破片である。胴部には羽状縄文を施文する。原体は燃りのゆるいものも別に使用している。	繊維
10-00664 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・灰褐・白粒・黒黧・透黧	胴部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
10-00665 135	縄文土器 土製円盤	覆土内 破片	長3.0 幅3.0 厚0.8	酸・並・橙・白粒・黒黧	土製円盤で、胴部片を使用している。	繊維

第12004号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00666 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・褐・白粒・透黧・2~3mm 大小礫	胴部の破片で、羽状縄文が施文されている。	繊維
10-00667 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・褐・白粒・黒粒・黒黧	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維

第12005号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00141	石器 打製石斧	覆土内 1/4残	長5.05 幅3.90 厚1.15 重23.2	黒色頁岩	破損のため、基部のみが残存する。裏面に大きく原礫面を残す。	

富田下大日遺跡 諸元

第12008号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00668 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	酸・並・黄褐・白粒・透鈹・2mm大 小礫	胴部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
10-00669 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・橙・白粒・黒鈹・透鈹	胴部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維
20-00142 135	石器 撞器	覆土内 完形	長5.05 幅3.90 厚1.15 重40.1	黒色頁岩	素材形状を利用して、調整剝離は最小限にとどめる。	

第12009号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00670 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・2～3mm大 小礫	口縁部の破片で、羽状縄文を施文している。	繊維
10-00671 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・透鈹	胴部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維

第12010号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00672	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・褐・白粒・黒鈹	半裁竹管によって文様を施文する。	繊維

第12019号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00673	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈹	口縁部の破片で、地文のみが施文されている。	繊維

第12021号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00674 135	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈹・ 2～3mm大小礫	口縁部は貝殻腹縁により刺突を行い、胴部は貝殻腹縁によりロッキングが施されている。	

第12033号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00675	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・灰白・白粒・白鈹・2mm大 小礫	無文の胴部の破片である。	

第12043号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00676	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鈹	口縁部の破片である。半裁竹管によって沈線文を施文する。	繊維

第12027号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00677 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚2.0	酸・並・橙・白粒・黒鈹	集合条線を施文する。榘状突起と、円形文を貼付している。	
10-00678 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・2～4 mm大小礫	胴部の破片で、集合条線を施文する。	
10-00680 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鈹・透鈹	集合条線を施文する。	
20-00143 136	石器 磨石	覆土内 完形	長8.70 幅5.70 厚4.30 重304.1	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので縁辺も使用するが、表裏面の使用が顕著である。	

第12028号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00681 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹	胴部の破片で、地文のみが施文されている。	
10-00682 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈹	胴部の破片で、羽状縄文が施文されている。	
20-00144 136	石器 撞器	覆土内 完形	長6.45 幅9.20 厚2.05 重78.9	黒色頁岩	素材の形状を利用し、調整剝離は最小限にとどめる。	

第12045号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00683 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍褐・白粒・黒鈹・透鈹	口縁部の破片で、集合沈線を施文する。口縁部下には隆帯を貼付し、隆帯上には刻みを施文している。	
10-00684 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍暗褐・白粒・黒鈹	集合沈線を施文する。10-00683と同一個体と考えられる。	

第12045号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00685 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.6	酸・並・明褐・白粒・黒粒・黒鉾・ 2～5mm大小礫	集合沈線を施文する。	

第12050号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00686	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉾	集合沈線を施文し、円形貼付文を施文する。	
20-00145	石器 凹石	覆土内 完形	長10.80 幅7.30 厚5.50 重304.1	粗粒輝石安山岩	表面に1箇所、裏面に2箇所浅い凹部を持つ。表裏面に敲打痕確認。又表裏面と左側面は磨面としても使用されている。	

第12068号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00687	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・透鉾	胴部の小破片である。	

第12071号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00146	石器 打製石斧	覆土内 破片	長4.30 幅4.20 厚1.40 重15.1	黒色頁岩	基部の一部のみが残存する。表面に原礫面が残る。	

第12076号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00688 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・黒鉾	口縁部の破片である。	
10-00689 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒粒・黒鉾	胴部の破片である。文様は沈線を垂下させる。	
10-00690 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鉾・1 ～2mm大小礫	胴部の破片である。文様は沈線を垂下させる。	
10-00691 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鉾	胴部の破片である。文様は沈線を垂下させる。	
10-00692 136	縄文土器 浅鉢	覆土内 1/3残	口(28.8) 底(7.6)	酸・並・明褐色・白粒・黒鉾・砂粒	口縁部は内湾する。胴部とは沈線で区画する。地文は条線である。	
10-00693 136	縄文土器 浅鉢	覆土内 1/3残	口(32.0) 底8.0	酸・並・橙・白粒・砂粒・黒鉾	口縁には胴部と区画する沈線を巡らす。胴部には条線を地文として施文する。所々やや太い条線がひかれている。	
20-00147 136	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長14.20 幅6.55 厚2.15 重207.7	灰色安山岩	基部を欠損する。刃部に最大幅を持つ。	

第12101号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00694	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鉾・ 透鉾・2～3mm大小礫	口縁部の破片で、集合沈線を施文する。円形、棒状貼付文を施文する。棒状貼付文上には刺突が加えられる。	
10-00695	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・明褐・白粒・黒粒・透鉾	胴部の破片で、地文のみが施文される。	

第12104号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00696	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・明褐・白粒・透鉾・1～2 mm大小礫	胴部の破片で浮線文を施文する。浮線文上には刻みを施している。	

第12166号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00697 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒粒・2mm大小 礫	口縁部の破片である。	
10-00698 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・黒鉾・1～2 mm大小礫	波状口縁部の大型の突起部分の破片で、集合沈線を施文している。	
10-00699 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・鈍橙・白粒・透鉾・1mm大 小礫	胴部の小破片である。	
20-00148 136	石器 打製石斧	覆土内 一部欠損	長10.25 幅5.10 厚2.05 重100.9	灰色安山岩	基部の一部を欠損。刃部は破損後再加工される。刃部に擦痕が認められる。	

第12167号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00700	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鉾	口縁部の破片である。	
10-00701	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.5	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉾	口縁部の破片である。	
10-00702	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉾・透鉾	胴部の小破片である。	

富田下大日遺跡 諸元

第12167号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00703	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒鉄・2mm大小 礫	胴部の破片で、2本1組の間を磨り消す沈線を垂下させる。	
10-00704	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・黒鉄	胴部の破片で、2本1組の間を磨り消す沈線を垂下させる。	

第12169号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00705	縄文土器 鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鉄・ 透鉄	胴部の破片で、地文は条線である。	

第12170号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00706	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・橙・白粒・黒粒・黒鉄・透 鉄	底部付近の小破片である。	

第12173号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00707	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄	胴部の上半の破片である。	

第12174号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00708	土師器 甕	覆土内 破片	高2.3	酸・並・鈍黄橙・並・砂粒	口縁部片。小片のため器形は不明。	
10-00709	須恵器 埴	覆土内 破片	厚0.7	還・並・灰白・並・チ角	胴部片。轆轤右回転。小片のため器形は不明。	
10-00710	土師器 手づくね	覆土内 破片	高1.6 底3.0	酸・並・浅黄・並・赤粒・長石	底部片。器厚は厚い。底部外面は未調整。	

第12175号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00711	土師器 甕	覆土内 破片	厚0.5	酸・並・浅黄・並・砂粒	口縁部片。轆轤右回転。小片のため器形は不明。	
10-00712	土師器 甕	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・明褐・並・透明粒子・砂粒	胴部片。器厚は厚い。粘土紐の接合痕が明瞭。小片のため器形は不明。	
10-00713	須恵器 甕	覆土内 破片	厚1.1	還・密・灰・硬・細砂粒	胴部片。器厚は厚い。轆轤右回転整形。小片のため器形は不明。	

第12176号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00714	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.8	酸・並・暗赤褐・白粒・黒鉄	口縁部の破片。地文のみ施文する。	

第12177号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00715	土師器 羽釜	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・橙・硬・赤粒・黒鉄・粗粒 砂	口縁部片。鏝貼り付け。	

第12185号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00716	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	胴部の破片である。間を磨り消す沈線を垂下させる。	
10-00717	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.1	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	胴部下半の破片である。なで状の沈線を垂下させる。	
10-00718	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・黄橙・白粒・黒鉄・透鉄・ 1mm大小礫	地文は条線である。	
20-00149	石器 楔形石器	覆土内 完形	長5.10 幅3.40 厚1.25 重30.1	黒色頁岩	最小限の調整を加えるのみである。	

第12186号土坑出土遺物(1)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00719	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄・透鉄	口縁部の破片である。	
10-00720 136	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	口(28.4)	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄・赤粒	4単位と考えられる突起を口縁部に持つ。口縁部の文様は楕円区画の上辺がのびて渦巻きとなるものである。	
10-00721	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄	胴部の破片で、間を磨り消す沈線を施文する。	

第12186号土坑出土遺物(2)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00722	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・褐灰・白粒・黒鉱・透鉱	口縁部文様の破片である。	
10-00723	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉱・透鉱	地文のみを施文する、胴部の破片である。	
10-00724	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.7	酸・並・黄褐・白粒・黒鉱・透鉱	地文のみを施文する、胴部の破片である。	
10-00725	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・透鉱	地文のみを施文する、胴部の破片である。	
10-00726	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鉱	底部の破片である。	
20-00150	石器 撞器	覆土内 完形	長3.0 幅7.45 厚1.30 重27.3	黒色頁岩	素材となる破片の形状を利用して使用している。	
20-00151	石器 砥石	覆土内 1/2残	長4.8 幅5.9 厚1.8 重26.9	軽石	板状で、側縁部は面取りがなされている。	

第310号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00727	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.2	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒粒・黒鉱・ 2～3mm大小礫	口縁部の破片。隆帯と沈線によって文様を施文している。	
10-00728	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鉱	胴部破片。地文のみが施文される。	

第276号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00729	土師器 甕	覆土内 1/4残	口21.0 高17.6 胴最22.8	酸・並・橙・硬・黒鉱・透鉱・白粒・ 砂粒	口縁部は「コ」の字崩れ。器厚は薄く均質。口縁部は横撫 で、胴部外面は下半を縦削り、上半を真横に削る。	
10-00730	土師器 坏	覆土内 破片	高2.3	中・密・浅黄・並・黒鉱・白粒・白 粒	口縁部片。器厚は薄い。	
10-00731	須恵器 坏	覆土内 破片	高2.0 底(6.0)	中・粗・鈍黄橙・並・赤粒・黒鉱・ 透鉱	底部片。器厚は厚い。轆轤右回転成整形、底部は回転糸切 り。	

第168号土坑出土遺物

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00152	石器 石皿	覆土内 完形	長22.2 幅15.55 厚6.1 重2,552		裏面は敲打を加え、平らに調整し置きやすく加工している。	繊維

遺構外出土遺物(1)－1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00732	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉱・透鉱	口縁部の破片で、口唇部にも縄文を施文している。	
10-00733	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉱	胴部の破片である。	
10-00734	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・透鉱	口縁部には側面圧痕文を施文する。胴部は羽状縄文が施文 される。	繊維
10-00735	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鉱	口縁部には側面圧痕文を施文する。	繊維
10-00736	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鉱・ 2～3mm大小礫	口縁部には側面圧痕文を施文する。	繊維
10-00737	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒鉱・透鉱	口縁部には側面圧痕文を施文する。	繊維
10-00738	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉱	口縁部には側面圧痕文を施文する。胴部は羽状縄文が施文 される。	繊維
10-00739	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・暗赤褐・白粒・黒鉱・透鉱	無文の口縁部である。	繊維
10-00740	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒	胴部の破片で、0段多条の縄文を施文する。	繊維
10-00741	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00742	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・透鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00743	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00744	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・透鉱・1～2mm 大小礫	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00745	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00746	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・黒鉱・透鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00747	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉱・透鉱	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00748	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・透鉱	胴部の破片である。	繊維
10-00749	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉱・透鉱・ 2mm大小礫	胴部の破片である。	繊維

遺構外出土遺物(1)―2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00750	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈹	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00751	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・明褐・白粒・黒鈹	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00752	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍褐・白粒	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00753	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈹	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00754	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈹	底部周辺の破片である。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00755	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・黒粒・黒鈹	尖底状の底部の破片である。	繊維
10-00756	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈹	波頂部に小突起のつく口縁部の破片で、半裁竹管による沈線文を施文する。	繊維
10-00757	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・透鈹	平縁の口縁部の破片で、半裁竹管によって2段、文様を施文する。	繊維
10-00758	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・透鈹・赤粒	平縁の口縁部の破片で、半裁竹管によって沈線を巡らしている。羽状縄文を施文する。	繊維
10-00759	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・褐灰・白粒・透鈹	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00760	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・黒褐・白粒・黒鈹・透鈹	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00761	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈹・透鈹	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00762	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈹	口縁部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00763	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹・透鈹	口縁部の破片で、単節 RL+R の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00764	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈹・透鈹	口縁部の破片で、0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維

遺構外出土遺物(2)―1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00765	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・暗褐・白粒・透鈹	口縁部の破片で、単節 LR の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00766	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈹	口縁部の破片で、単節 LR の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00767	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈹	口縁部の破片で、単節 LR の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00768	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・明赤褐・透鈹	口縁部の破片で、単節 LR の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00769	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍褐・白粒・黒鈹	口縁部の破片で、単節 LR の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00770	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・透鈹	半裁竹管によって集合沈線を施文する。	繊維
10-00771	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・黄橙・白粒・黒鈹	半裁竹管によってコンパス文を施文する。	繊維
10-00772	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹	半裁竹管によってコンパス文を施文する。	繊維
10-00773	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈹	半裁竹管によってコンパス文を施文する。	繊維
10-00774	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈹 2mm大小礫	半裁竹管によってコンパス文を施文する。	繊維
10-00775	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鈹	半裁竹管によって押し引き刺突文を施文する。	繊維
10-00776	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹・透鈹・2mm大小礫	半裁竹管によって平行沈線文を施文する。	繊維
10-00777	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈹・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00778	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈹・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00779	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・赤褐・白粒・黒鈹・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00780	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00781	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00782	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・橙・白粒・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00783	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐・白粒・黒鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00784	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒鈹・3mm大小礫	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00785	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維
10-00786	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈹	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00787	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒鈹・透鈹	胴部の破片で、羽状縄文を施文する。	繊維

遺構外出土遺物(2)― 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00788	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00789	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・明赤褐・白粒・透鈺・2～3mm大小礫	胴部の破片で撚りのゆるい縄文を地文として施文する。	繊維
10-00790	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・褐灰・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00791	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00792	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈺	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00793	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐・白粒・透鈺	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00794	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・透鈺・2mm大小礫	胴部の破片で撚りのゆるい縄文を地文として施文する。	繊維
10-00795	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺・2mm大小礫	胴部の破片で0段多条の縄文を地文として施文する。	繊維
10-00796	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・2mm大小礫	口縁部の破片で、半裁竹管によって平行沈線文やコンパス文を施文する。	
10-00797	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒	口縁部の破片で、半裁竹管によって口縁部に半円形の刺突文を巡らしている。	
10-00798	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈺・2mm大小礫	口縁部の破片で、半裁竹管によって口縁部に刺突文を巡らしている。	
10-00799	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・褐・白粒・透鈺	口縁部の破片で、半裁竹管によって口唇部に刺突文を巡らしている。	

遺構外出土遺物(3)― 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00800	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・透鈺	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00801	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00802	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00803	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00804	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00805	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	平縁の口縁部破片で、地文のみを施文する。	
10-00806	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・橙・白粒・透鈺	半裁竹管によって平行沈線文とコンパス文を施文している。	
10-00807	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・橙・白粒・黒鈺	半裁竹管によって平行沈線文とコンパス文を施文している。	
10-00808	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	半裁竹管によって平行沈線文を施文している。	
10-00809	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明黄褐・白粒・透鈺	半裁竹管による平行沈線間に、刺突を施している。	
10-00810	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・透鈺	半裁竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00811	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒鈺	半裁竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00812	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鈺	半裁竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00813	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・黄橙・白粒・透鈺	半裁竹管による平行沈線間に刺突を施し、格子目状に施文する。	
10-00814	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	半裁竹管によって並行沈線文を施文する。	
10-00815	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00816	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、0段多条の縄文を地文として施文している。	
10-00817	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、0段多条の縄文を地文として施文している。	
10-00818	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・暗赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00819	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00820	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00821	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00822	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺	胴部の破片で、撚りのごくゆるい原体によって、地文を施文している。	
10-00823	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐・白粒・黒鈺	波状口縁部で、口縁部には半裁竹管によって文様が施文される。	
10-00824	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・2mm大小礫	半裁竹管によって平行沈線文を2段施文し、沈線内には刺突文を施文している。	
10-00825	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐灰・白粒・黒鈺	半裁竹管によって文様を施文している。	

遺構外出土遺物(3)ー2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00826	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	半裁竹管によって文様を施文している。	
10-00827	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉾	半裁竹管によって文様を施文している。	
10-00828	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・明褐・白粒・黒鉾・2mm大小礫	半裁竹管によって文様を施文している。	
10-00829	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉾	櫛歯状の沈線で、区画文を施文している。	
10-00830	縄文土器 深鉢	破片	厚2.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・砂粒	口縁部に突起状に貼付したもので、獣面把手の簡略化されたものと考えられる。	
10-00831	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	酸・並・明黄褐・白粒・黒鉾	小突起を有する口縁部の破片、刻みを施す。胴部には2条1単位となる浮線文を施文、浮線に向きを変えた綾杉状の刻みを施している。	
10-00832	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・黒鉾・1mm大小礫	2条1単位の浮線文を渦巻き状に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00833	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00834	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明黄褐・白粒・黒鉾・2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00835	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・透鉾・1~2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00836	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明黄褐・白粒・黒鉾・1mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	

遺構外出土遺物(4)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00837	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00838	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00839	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00840	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00841	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00842	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00843	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00844	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・2~3mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00845	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00846	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍橙・白粒・2mm大小礫	2条1単位の浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00847	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位のそうめん状に細い浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00848	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒鉾・透鉾	2条1単位のそうめん状に細い浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00849	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉾	2条1単位のそうめん状に細い浮線文を平行に施文する。浮線には向きを変えて綾杉状刻みを施している。	
10-00850	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾・2mm大小礫	底部の破片である。浮線文を施文する。	
10-00851	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・赤粒・2mm大小礫	口縁部には円孔を巡らしている。	
10-00852	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍褐・白粒・黒鉾・透鉾	口縁部には円孔を巡らしている。	
10-00853	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鉾・2~3mm大小礫	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって渦巻き文などを施文する。波頂下には突起状の貼付文を施文する。	
10-00854	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍橙・白粒・黒鉾・透鉾・2~3mm大小礫	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって渦巻き文などを施文する。	
10-00855	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・黒鉾・透鉾・1mm大小礫	屈曲する口縁部の破片で、沈線によって渦巻き文などを施文する。	
10-00856	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄褐・白粒・黒粒・2~3mm大小礫	屈曲する口縁部の破片で、波頂下には突起状の貼付文を施文する。また円孔もみられる。	
10-00857	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・明褐・白粒・黒鉾・透鉾・2~3mm大小礫	屈曲する口縁部の破片で、集合沈線文を施文する。地文は無文である。	
10-00858	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉾	口縁部の波頂下、円形の貼付文を施文する。	
10-00859	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鉾・透鉾・1~2mm大小礫	波状口縁の破片で、半裁竹管による集合沈線文で、渦巻き文などを施文している。	
10-00860	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鉾	口縁部文様帯の破片で、半裁竹管による集合沈線文で、渦巻き文などを施文している。	
10-00861	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鉾・2~3mm大小礫	口縁部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を施文する。	
10-00862	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・赤褐・白粒・透鉾・1~5mm大小礫	波状口縁の破片で、半裁竹管による集合沈線文で、文様を施文している。10-00863と同一個体	
10-00863	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・明黄褐・白粒・透鉾・2~3mm大小礫		

遺構外出土遺物(5)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00864	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2mm大小礫	屈曲する口縁部で、波状となる。半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00865	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2mm大小礫	屈曲する口縁部で、波状となる。半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00866	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈺・赤粒・ 2mm大小礫	波状口縁部の破片で、半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00867	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・赤粒・ 2mm大小礫	屈曲する口縁部で、波状となる。半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00868	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鈺・ 2～3mm大小礫	波状口縁部の破片で、半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00869	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	波状口縁部の破片で、半裁竹管によって集合沈線文を施文する。	
10-00870	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	酸・並・明黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	箱状となる大波状部の破片で、半裁竹管によって集合沈線が施文される。	
10-00871	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺・ 2mm大小礫	箱状となる大波状の口縁部の破片で、半裁竹管によって集合沈線が施文される。	
10-00872	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2～4mm 大小礫	肉厚な大波状の口縁部の破片で半裁竹管によって集合沈線が施文される。	
10-00873	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺	胴部の破片で、胴上部には、集合沈線文が施文され、胴下部は地文のみが施文される。	
10-00874	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鈺・透鈺・2 ～4mm大小礫	胴上部の破片で、半裁竹管による集合沈線文で、文様を施文している。	
10-00875	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2mm大小 礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00876	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・白鈺・黒鈺	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00877	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00878	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00879	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00880	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する。	
10-00881	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・明黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に施文する間を矢羽状の文様で埋めている。	

遺構外出土遺物(6)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00882	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・2mm大小礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に密に施文する。	
10-00883	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・白鈺・透鈺・2 ～4mm大小礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に密に施文する。	
10-00884	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍橙・白粒・白鈺・黒粒・ 2～4mm大小礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を平行に密に施文する。	
10-00885	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2mm大小 礫	胴部の破片で、半裁竹管による集合沈線文を縦方向、矢羽や平行に密に施文する。	
10-00886	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2～3mm 大小礫	10-00885と同一個体	
10-00887	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2～3mm 大小礫	10-00885と同一個体	
10-00888	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈺・赤粒・ 2～3mm大小礫	10-00885と同一個体	
10-00889	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍褐・白粒・透鈺	底部の破片。半裁竹管による集合沈線文が平行に施文される。	
10-00890	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2mm大小 礫	底部の破片。半裁竹管による集合沈線文が平行に施文される。	
10-00891	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鈺	底部の破片。半裁竹管による集合沈線文が平行に施文される。	
10-00892	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	地文のみが施文される口縁部の破片である。	
10-00893	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺	地文のみが施文される胴部の破片である。	
10-00894	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺	地文のみが施文される胴部の破片である。	
10-00895	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	地文のみが施文される胴部の破片である。	
10-00896	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	地文のみが施文される胴部の破片である。	
10-00897	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	地文のみが施文される底部の破片である。	

遺構外出土遺物(7)－1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00898	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・2mm大小礫	口縁部は屈曲するもので、円孔が施文されている。	
10-00899	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺・ 2mm大小礫	集合沈線文を施文する波状口縁部の破片で、円形貼付文が施文される。	

遺構外出土遺物(7)－2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00900	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・白鈺・2mm 大小礫	口縁部の破片で、集合沈線文で弧状に施文される。	
10-00901	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、集合沈線文を胴部には縦方向に施文して いる。	
10-00902	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	口縁部の破片で、胴部には地文のみが施文される。棒状の 貼付文が施文されている。	
10-00903	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈺・2mm大 小礫	集合沈線によって文様を施文するもので、平行する沈線文 の間には矢羽状の文様を施文する。	
10-00904	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍橙・白粒・黒鈺	集合沈線によって文様を施文するもので、平行する沈線文 の間を、縦方向の沈線によってつないでいる。	
10-00905	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	集合沈線によって文様を施文するもので、斜めや、平行す る沈線文を施文している。	
10-00906	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐・白粒・黒鈺・透鈺	集合沈線によって文様を施文するもので、斜めや、平行す る沈線文を施文している。	
10-00907	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・2～3 mm大小礫	口縁部の破片で、口縁部には刺突を巡らしている。	
10-00908	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、口縁部には刺突を巡らしている。	
10-00909	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、口縁部には刺突を巡らしている。	
10-00910	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒鈺	口縁部の破片で、口縁部には刺突を巡らしている。円形貼 付文が施文されている。	
10-00911	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、集合沈線によって文様を施文している。	
10-00912	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・透鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって文様を施文している。	
10-00913	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺・ 2～3mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって文様を施文している。	
10-00914	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺・ 3mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、矢羽上 の沈線文を施文している。	
10-00915	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、矢羽上 の沈線文を施文している。	
10-00916	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐灰・白粒・黒鈺	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、矢羽上 の沈線文を施文している。	
10-00917	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・灰黄褐・白粒・黒粒・透鈺	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、矢羽上 の沈線文を施文している。	
10-00918	縄文土器 深鉢	破片	厚0.6	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・2mm 大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、矢羽上 の沈線文を施文している。	
10-00919	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や横方向、斜め方 向の沈線文を施文している。	
10-00920	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、集合沈線によって施文された縦方向の沈線 間には斜め方向の沈線文を施文している。	
10-00921	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・赤褐・白粒・黒鈺・2～3 mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって施文された縦方向の沈線 間には斜め方向の沈線文を施文している。	
10-00922	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、集合沈線によって施文された縦方向の沈線 間には斜め方向や矢羽状の沈線文を施文している。	
10-00923	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、集合沈線によって施文された縦方向の沈線 間には斜め方向や矢羽状の沈線文を施文している。	
10-00924	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・黄橙・白粒・黒鈺・2mm大 小礫	胴部の破片で、集合沈線によって施文された縦方向の沈線 間には格子目上に沈線文を施文している。	
10-00925	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・灰黄褐・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00926	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈺・2～3 mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	

遺構外出土遺物(8)－1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00927	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍橙・白粒・白鈺・赤粒・ 2mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00928	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍橙・白粒・1～2mm大小 礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00929	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・2～3 mm大小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00930	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・2～5mm大 小礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00931	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2mm大小 礫	胴部の破片で、集合沈線によって縦方向や斜め方向に文様 を施文している。	
10-00932	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・黒鈺・ 2mm大小礫	底部付近の破片である。	
10-00933	縄文土器 深鉢	4/5残	口11.0	酸・硬・鈍黄橙・白粒・黒鈺・砂粒	屈曲する口縁部には円形と棒状貼付文を施し、幅広い棒状 貼付文を5単位配している。	
10-00934	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・2mm大小礫	口縁部の破片、矢羽状の沈線文を施文し、上下には刺突文 を施文する。2本1組の棒状の貼付文を施文する。	
10-00935	縄文土器 深鉢	破片	厚2.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片、斜め方向の沈線文を施文し、口唇部には刺 突文を施文する。棒状の貼付文を施文する。	
10-00936	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、口縁部には矢羽状の沈線文を施文し、棒 状の貼付文や円形貼付文を施文する。	
10-00937	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、口縁部には斜方向の沈線文を施文し、棒 状の貼付文を施文する。	

遺構外出土遺物(8)－2

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00938	縄文土器 深鉢	破片	厚2.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透磁・赤粒	口縁部の破片で、口縁部には2段の矢羽状の沈線文を施文し、棒状の貼付文や円形貼付文を施文する。	
10-00939	縄文土器 深鉢	破片	厚2.3	酸・並・橙・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、口端部には、かまぼこ状の貼付文を施文し、間には円形貼付文を施文する。	
10-00940	縄文土器 深鉢	破片	厚2.4	酸・並・鈍赤褐・白粒・透磁・2mm 大小礫	口縁部の破片で、口端部には、かまぼこ状の貼付文を施文し、間には棒状貼付文や円形貼付文を施文する。	
10-00941	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	口縁部から直線的に底部にいたる器で、集合沈線文は縦方向にのみ施文される。円形貼付文が施されている。	
10-00942	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄褐・白粒・透磁・2mm 大小礫	集合沈線を器面全体に施文し、円形貼付文を施文する。	
10-00943	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・黒磁・透磁	集合沈線を器面全体に施文し、円形貼付文を施文する。	
10-00944	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・橙・白粒・透磁・2～5mm 大小礫	集合沈線を器面全体に施文し、円形貼付文を施文する。	
10-00945	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・2mm 大小礫	集合沈線を器面全体に施文し、円形貼付文を施文する。	
10-00946	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施文し、円形貼付文を施文する。	
10-00947	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・鈍橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施文し、棒状や円形貼付文を施文する。	
10-00948	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・黒磁	集合沈線を器面全体に施文し、棒状や円形貼付文を施文する。	
10-00949	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施文し、棒状貼付文を施文する。貼付文上には刻目を入れる。	
10-00950	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍橙・白粒・黒粒・透磁	集合沈線を器面全体に施文し、棒状貼付文を施文する。貼付文上には刻目を入れる。	
10-00951	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	集合沈線を器面全体に施文し、棒状貼付文を施文する。貼付文上には刻目を入れる。	

遺構外出土遺物(9)

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00952	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	地文のみを施文する口縁部の破片である。	
10-00953	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・2mm 大小礫	平行沈線文を横方向や斜め方向に施文する。	
10-00954	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・黒褐・白粒・黒粒	平行沈線文を弧状や斜め方向に施文する。口縁部には刺突文を施文される。	
10-00955	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・1～2 mm大小礫	口縁部の破片で、刺突や刻みを施文する。	
10-00956	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	口縁部の破片で、刺突や刻みを施文する。	
10-00957	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透磁	口縁部の破片で、刺突や刻みを施文する。	
10-00958	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・暗赤褐・白粒・黒粒・透磁	口縁部の破片で、刺突や平行沈線を施文する。	
10-00959	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・透磁	波状口縁部の破片で、貝殻腹縁文を施文する。口端部には刻目を入れる。	
10-00960	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、貝殻腹縁文を施文する。	
10-00961	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、貝殻腹縁で、刺突などを施文する。	
10-00962	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・黄橙・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、貝殻腹縁文を施文する。	
10-00963	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・灰黄褐・白粒・透磁	地文として貝殻腹縁文を施文し、沈線文を施文している。	
10-00964	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・褐灰・白粒・透磁	地文として貝殻腹縁文を施文し、沈線文を施文している。	
10-00965	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・明赤褐・白粒・透磁・2mm 大小礫	地文として貝殻腹縁文を施文し、沈線文を施文している。	
10-00966	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・透磁	地文として貝殻腹縁文を施文し、沈線文を施文している。	
10-00967	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒	沈線を平行して施文しており、その内側に貝殻腹縁文を施文している。	
10-00968	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	胴部の破片で、貝殻腹縁文を施文する。	
10-00969	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・橙・白粒・黒粒・赤粒	口縁部の破片で、隆帯によって施文される。文様の区画内は沈線文を施文する。	
10-00970	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・橙・白粒・黒粒	無文の口縁部を持ち、隆帯によって区画されるものである。	
10-00971	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・橙・白粒・黒粒	頸部から胴部の破片で、沈線によって胴部とを区画する。地文は燃り糸文である。	
10-00972	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒粒・透磁	胴部の破片で、隆帯を垂下させる。	
10-00973	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒粒・透磁	重弧文などが施文される口縁部の破片と考えられる。	
10-00974	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	酸・並・明黄橙・白粒・黒粒・透磁・ 2mm大小礫	口縁部の破片で、隆帯によって渦巻き文を施文する。胴部との区画には、ごく浅いなで沈線文を施文する。	
10-00975	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・透磁・ 5mm大小礫	口縁部の破片で、隆帯によって渦巻き文を施文する。胴部との区画には、ごく浅いなで沈線文を施文する。	

遺構外出土遺物(10)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00976	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2～3mm大小礫	口縁部の破片で、隆帯によって文様を施文している。	
10-00977	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・透鈺	口縁部の破片で、口縁部は隆帯によって文様を施文している。胴部は2本1組の間を磨り消す沈線を垂下させる。	
10-00978	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、口縁部は浅いなで状の沈線で、楕円区画文などを施文し、胴部には沈線を垂下させる。	
10-00979	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺	口縁部の破片で、円形刺突文が施文されている。	
10-00980	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	口縁部の破片で口縁部は楕円区画を施文し、胴部には蕨手文や逆U字文を施文する。	
10-00981	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・透鈺	口縁部の破片で口縁部は楕円区画を施文し、胴部にも楕円区画文などを施文する。	
10-00982	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、口縁部に端部を渦巻き状に施文する区画文を施文する。	
10-00983	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂下には楕円区画文を施文する。波頂部内面にも楕円区画文を施文する。	
10-00984	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・橙・白粒・黒粒・黒鈺・透鈺	波状口縁部の破片で、口縁部に端部を渦巻き状に施文する区画文を施文する。地文は条線である。	
10-00985	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・黒鈺・ 赤粒	口縁部の破片で、隆帯を連弧状に施文する。	

遺構外出土遺物(11)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-00986	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並。灰黄褐・白粒・黒粒・黒鈺	頸部から胴部にかけての破片で、胴部には3本1組の間を磨り消す沈線を垂下させる。	
10-00987	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺	頸部から胴部にかけての破片で、地文は条線である。	
10-00988	縄文土器 深鉢	破片	厚1.8	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・2～3 mm大小礫	頸部から胴部にかけての破片で、地文は条線である。	
10-00989	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒・透鈺	胴部の破片で、逆U字文と蕨手文を交互に施文する。	
10-00990	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈺・2 ～3mm大小礫	胴部の破片で3本1組の間を磨り消す沈線を、垂下させる。沈線は浅いなで状になる。	
10-00991	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2～3mm大小礫	胴部の破片で3本1組の間を磨り消す沈線を、垂下させる。沈線は浅いなで状になる。	
10-00992	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・透鈺・ 赤粒	胴部の破片で3本1組の間を磨り消す沈線を垂下させ、その間は蛇行する懸垂文を施文する。沈線は浅いなで状になる。	
10-00993	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺	胴部の破片で間を磨り消す沈線を、垂下させる。沈線は浅いなで状になる。	
10-00994	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈺・1 ～2mm大小礫	胴部の破片で2本1組の間を磨り消す沈線を、垂下させる。沈線は浅いなで状になる。地文は条線を施文する。	
10-00995	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・1～3 mm大小礫	胴部の破片で3本1組の間を磨り消す沈線を、垂下させる。沈線は浅いなで状になる。地文は縄文と流水文状に施文する、櫛歯状の条線の2種類を施文する。	
10-00996	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で2本1組の間を磨り消す沈線を垂下。沈線は浅いなで状。地文は縄文と櫛歯状の条線の2種類を施文。	
10-00997	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2～3mm大小礫	沈線によって連弧文を施文する。	
10-00998	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・灰黄褐・白粒・黒粒	沈線によって連弧文を施文する。	
10-00999	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈺・2 ～3mm大小礫	頸部から胴部の破片で、地文は涙状の沈線をハの字状に施文する。	
10-01000	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈺・2 ～3mm大小礫	頸部から胴部の破片で、地文は涙状の沈線をハの字状に施文する。	
10-01001	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・橙・白粒・黒粒・透鈺	胴部の破片で、隆帯を垂下させて施文している。地文は涙状の沈線をハの字状に施文する。	
10-01002	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒粒・黒鈺・透鈺	胴部の破片で、隆帯を垂下させて施文している。地文は涙状の沈線をハの字状に施文する。	
10-01003	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒鈺・ 透鈺	地文に円形刺突文を施している。	

遺構外出土遺物(12) - 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01004	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺	地文に円形刺突文を施している。	
10-01005	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・橙・白粒・黒粒	涙状の沈線を縦方向に施文している。	
10-01006	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・橙・白粒・黒粒・2～3mm 大小礫	胴部の破片で、隆帯を垂下させて施文している。地文は涙状の沈線をハの字状に施文する。	
10-01007	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺	波状口縁部の破片で、断面三角形で、微隆起となる隆帯によって大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01008	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍赤褐・白粒・黒粒・透鈺	波状口縁部の破片で、断面三角形で、微隆起となる隆帯によって大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01009	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・黄橙・白粒・黒粒・2～3 mm大小礫	波状口縁部の破片で、断面三角形で、微隆起となる隆帯によって大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01010	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鈺・ 2～3mm大小礫	口縁部の破片で、断面三角形で、微隆起となる隆帯によって大形の渦巻き文などを施文する。	

遺構外出土遺物(12)ー2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01011	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・褐灰・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、微隆起状の隆帯によって文様を施文している。	
10-01012	縄文土器 深鉢	破片	厚0.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	波状口縁部の破片で、断面三角形で、微隆起となる隆帯によって大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01013	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	波状口縁部の破片で、無文の口縁部となる。	
10-01014	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、微隆起の隆帯によって胴部と区画する。文様は地文のみである。	
10-01015	縄文土器 深鉢	破片	厚2.1	酸・並・橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、微隆起状の隆帯によって文様を施文している。	
10-01016	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、微隆起状の隆帯によって文様を施文している。	
10-01017	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、微隆起状の隆帯によって文様を施文している。	
10-01018	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、微隆起状の隆帯で大形の渦巻き文を施文する。	
10-01019	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	胴部の破片で、微隆起状の隆帯で大形の渦巻き文を施文する。	

遺構外出土遺物(13)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01020	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・透鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、微隆起状の隆帯で大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01021	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	端部が釣り針状となる隆帯を施文している。	
10-01022	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	端部が釣り針状となる隆帯を施文している。	
10-01023	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・2mm 大小礫	胴部の破片で、微隆起状の隆帯で大形の渦巻き文などを施文する。	
10-01024	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・橙・白粒・黒鈺・透鈺	間を磨り消す2本1組の微隆起を胴部に垂下させる。	
10-01025	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、胴上部に波状沈線文を施文し、波の間に 麻手文を施文する。	
10-01026	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・赤粒	口縁部の破片で、胴上部に波状沈線文を施文し、波の間に 麻手文を施文する。	
10-01027	縄文土器 深鉢	破片	厚1.9	酸・並・橙・白粒・黒鈺・透鈺	屈曲する波状口縁部の破片である。隆帯で胴部と区画し、 隆帯の上には連続する列点文を施文する。	
10-01028	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	波状口縁部の破片で、口縁部には列点文を連続して施文する。	
10-01029	縄文土器 深鉢	破片	厚1.5	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、口縁部は沈線で区画し、内側には列点 文を施文する。胴上部に波状沈線文を施文する。	
10-01030	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・明褐・白粒・黒鈺・透鈺・ 赤粒	口縁部の破片で、口縁部に列点文を施文する。	
10-01031	縄文土器 深鉢	破片	厚1.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	波状口縁部の破片で、口縁部は沈線で区画する。胴上部 に波状沈線文を施文する。	
10-01032	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・明黄褐・白粒・黒鈺・2～3 mm大小礫	波状口縁部の破片で、口縁部は沈線で区画する。胴上部 に波状沈線文を施文する。	
10-01033	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	口縁部の破片で、口縁部は沈線で区画する。胴上部に波 状沈線文を施文する。	
10-01034	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	波状口縁部の破片で、口縁部は沈線で区画する。胴上部 には渦巻き文を施文する。	
10-01035	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・褐灰・白粒・黒鈺	波状口縁部の破片で、胴上部には波状沈線文を施文する。	
10-01036	縄文土器 深鉢	破片	口(34.0)	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・砂粒	胴部上部に大形の渦巻き文を沈線で施文している。	

遺構外出土遺物(14)ー1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01037	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・橙・白粒・黒鈺・2mm大小 礫	口縁部の破片で、胴部との区画に沈線文を巡らしている。 胴部は地文のみを施文している。	
10-01038	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明黄褐・白粒・透鈺	口縁部の破片で、胴部との区画に間を磨り消す2本1組の 沈線文を巡らしている。	
10-01039	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・赤粒	胴上部に間を磨り消す2本1組の沈線文で、渦巻き文を施 文する。	
10-01040	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	胴上部に間を磨り消す2本1組の沈線文で、波状文を施文 する。	
10-01041	縄文土器 鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺	小型のもので、羽状縄文を施文する。	
10-01042	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・浅黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	口縁部の破片で、胴部との区画に沈線文を巡らしている。	
10-01043	縄文土器 深鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・2mm大 小礫	口縁部の破片で、胴部との区画に沈線文を巡らしている。 地文は条線を施文している。	
10-01044	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明赤褐・白粒・黒鈺・透鈺	胴上部に間を磨り消す2本1組の沈線文で、渦巻き文を施 文する。	
10-01045	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・黄橙・白粒・黒鈺	胴部に逆U字文を垂下させるもので、地文は条線である。	
10-01046	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鈺・透鈺	胴部に逆U字文を垂下させるもので、地文は縄文である。	

遺構外出土遺物(14) - 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01047	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・堇・浅黄橙・白粒・黒粒・2~3mm大小礫	胴部に逆U字文を垂下させ、その間に麻手文を施文するもので、地文は縄文である。	
10-01048	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉢・1~3mm大小礫	ごく浅い状態で沈線を波状に施文する。	
10-01049	縄文土器 深鉢	破片	厚0.8	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉢	胴部のくびれ部分の破片で、沈線によって文様を胴上部と下部とに分割して施文している。	
10-01050	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉢	胴部のくびれ部分の破片で、沈線によって文様を胴上部と下部とに分割して施文している。	
10-01051	縄文土器 深鉢	破片	厚1.3	酸・並・明褐・白粒・黒粒	胴部下半の破片で、3本1組の間を磨り消す沈線を垂下させる。	
10-01052	縄文土器 深鉢	破片	底(8.6)	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、地文は条線と単節LRの縄文を施文している。	
10-01053	縄文土器 深鉢	破片	底8.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、沈線文を胴部に垂下させる。	
10-01054	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・橙・白粒・黒粒	胴下半部から底部の破片で、沈線文を胴部に垂下させる。	
10-01055	縄文土器 深鉢	破片	底(9.2)	酸・並・橙・白粒・黒粒	地文のみ施文される。地文は単節LRの縄文を施文する。	
10-01056	縄文土器 深鉢	破片	厚2.7	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分は突起状になっており、突起の先端は丸い窪みをつける。	
10-01057	縄文土器 深鉢	破片	厚2.2	酸・並・灰黄褐・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分は突起状になっている。胴部には逆U字状となる懸垂文を施文する。	
10-01058	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	突起部分の表上に、沈線を施文している。	
10-01059	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片である。	
10-01060	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	波状口縁部の破片で、波頂部分に橋状の把手をつける。	
10-01061	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙	波状口縁部の破片で、波頂部分に橋状の把手をつける。	

遺構外出土遺物(15)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01062	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙	口縁部の破片で、橋状の把手を施文している。	
10-01063	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒	口縁部の破片で、細い1本沈線で文様を施文している。	
10-01064	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・褐灰・白粒・黒粒	口縁部の破片で、細い1本沈線で文様を施文している。	
10-01065	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	口縁部の破片で、胴部には凹形や蛇行する沈線文を施文する。	
10-01066	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	微隆起隆帯を縦方向に垂下させる。	
10-01067	縄文土器 深鉢	破片	厚1.2	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉢・赤粒	底部の破片である。	
10-01068	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・明黄褐・白粒・黒粒・透鉢	胴部の破片で、地文のみが施文される。	
10-01069	縄文土器 深鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文のみが施文される。	
10-01070	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・褐灰・白粒・透鉢	口縁部の破片で、櫛歯状の状線を地文として施文する。	
10-01071	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1	酸・並・橙・白粒・黒粒・2mm大小礫	地文は条線である。	
10-01072	縄文土器 深鉢	破片	厚0.9	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・黒粒	地文は条線である。	
10-01073	縄文土器 鉢	破片	厚1.5	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	地文条線のみを施文する。	
10-01074	縄文土器 鉢	破片	厚1.0	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・透鉢	地文条線のみを施文する。	
10-01075	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	無文の口縁部を作り出す。地文は流水状の条線を施文する。	
10-01076	縄文土器 深鉢	破片	厚1.1		10-01075と同一個体。	

遺構外出土遺物(16) - 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01077	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.5	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒・透鉢	口縁部と胴部を沈線で区画する。地文はなく、無文である。	
10-01078	縄文土器 浅鉢	破片	厚2.1	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	内湾する口縁部は無文で、肩部に隆帯によって文様を施文する。	
10-01079	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.3	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文は条線である。	
10-01080	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	酸・並・明赤褐・白粒・黒粒	胴部の破片で、地文は条線である。	
10-01081	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.6	酸・並・浅黄橙・白粒・黒粒	屈曲する肩部の破片で、微隆起状の隆帯で文様を施文する。	
10-01082	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.4	酸・並・鈍黄橙・白粒・黒粒・赤粒・1~2mm大小礫	屈曲する肩部には単節RLの縄文を施文し、胴部の地文は条線である。	

遺構外出土遺物(6)―2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
10-01083	縄文土器 浅鉢	破片	厚0.9		酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	胴部の破片で、地文は流水状の条線である。	
10-01084	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.0		酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	胴部の破片で、地文は単節の縄文を施文する。	
10-01085	縄文土器 壺	破片	厚1.4		酸・並・橙・白粒・黒鉄	橋状の把手部分。地文は単節 RL の縄文を施文する。	
10-01086	縄文土器 壺	破片	厚1.0		酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄	橋状の把手部分。地文は単節 RL の縄文を施文する。	
10-01087	縄文土器 壺	破片	厚1.4		酸・並・浅黄橙・白粒・黒鉄・赤粒	隆帯によって渦巻き状に施文される。	
10-01088	縄文土器 壺	破片	厚1.4		酸・並・鈍黄橙・白粒・白鉄・黒鉄・ 2mm大小礫	隆帯によって渦巻き状に施文される。	
10-01089	縄文土器 壺	破片	厚1.4		酸・並・明黄褐・白粒・黒鉄・2mm 大小礫	橋状把手を貼付する。	
10-01090	縄文土器 浅鉢	破片	厚1.8		酸・並・黄橙・白粒・黒鉄	底部の破片である。	
10-01091	縄文土器 壺	破片	厚0.7		酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	帯び状に施文された沈線文間に地文を充填する。	
10-01092	縄文土器 深鉢	破片	厚1.6		酸・並・鈍黄橙・白粒・透鉄	口縁部の突起部分である。	
10-01093	縄文土器 浅鉢	破片	厚0.7		酸・並・灰黄褐・白粒・透鉄・赤粒	沈線によって区画された内側に、対向する弧状の沈線文を連続して施文する。	
10-01094	縄文土器 深鉢	3/5残	口(18.6)		酸・並・鈍黄橙・白粒・黒鉄	4単位の突起を持つもので、胴上部には上を隆帯、下を沈線で区画した帯状の文様を施文している。	
10-01095	縄文土器 ミニチュア 土器	完形	口1.9		酸・並・鈍黄橙・白粒・透鉄	てづくねされたもので、指などによるなでが認められる。	
20-00153	石製品 玉	表土 完形	長1.85 幅1.55 厚0.8 重4.0		滑石	中央部を穿孔するもので、表面は丁寧に磨かれるが、裏面は形状を調整するため行った敲打痕が認められる。	

遺構外出土遺物(7)―1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00154	石器 石鏃	39-B-15 完形	長1.15 幅1.2 厚0.2 重0.3		黒曜石	無茎長平根三角形	
20-00155	石器 石鏃	48-P-3 完形	長2.1 幅1.7 厚0.4 重1.1		チャート	無茎長平根三角形	
20-00156	石器 石鏃	38-O-17 4/5残	長2.65 幅2.0 厚0.4 重2.0		チャート	無茎長平根三角形	
20-00157	石器 石鏃	調査区内 4/5残	長3.0 幅2.1 厚0.5 重2.8		黒曜石	無茎長平根三角形	
20-00158	石器 石鏃	38-N-20 完形	長2.05 幅1.5 厚0.45 重1.4		黒色頁岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00159	石器 石鏃	48-R-5 4/5残	長2.05 幅1.3 厚0.25 重0.6		チャート	無茎長平根三角形	
20-00160	石器 石鏃	38-R-16 一部欠損	長2.05 幅1.35 厚0.35 重0.9		チャート	無茎長平根三角形抉式	
20-00161	石器 石鏃	39-C-19 一部欠損	長2.1 幅1.1 厚0.3 重0.7		チャート	無茎長平根三角形抉式	
20-00162	石器 石鏃	調査区内 一部欠損	長2.85 幅1.6 厚0.55 重2.3		チャート	無茎長平根三角形抉式	
20-00163	石器 石鏃	49-C-19 一部欠損	長2.1 幅1.95 厚0.4 重1.8		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00164	石器 石鏃	38-N-20 完形	長1.3 幅2.15 厚0.3 重1.3		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00165	石器 石鏃	39-D-19 ほぼ完形	長3.15 幅1.95		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00166	石器 石鏃	38-R-14 4/5残	長3.0 幅1.65 厚0.3 重1.4		チャート	無茎長平根三角形抉式	
20-00167	石器 石鏃	38-S-19 完形	長3.1 幅1.9 厚0.35 重2.3		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00168	石器 石鏃	Na121P 完形	長2.9 幅2.3 厚0.4 重1.9		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00169	石器 石鏃	49-E-17 90%残	長3.4 幅1.8 厚0.4 重1.8		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00170	石器 石鏃	38-F-12 完形	長3.0 幅2.1 厚0.35 重1.6		チャート	無茎長平根三角形抉式	
20-00171	石器 石鏃	39-B-18 4/5残	長2.55 幅2.3 厚0.35 重1.6		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00172	石器 石鏃	49-A-2 一部欠損	長2.3 幅2.0 厚0.4 重1.5		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00173	石器 石鏃	38-S-19 4/5残	長2.35 幅2.0 厚0.4 重1.4		黒色安山岩	無茎長平根三角形抉式	
20-00174	石器 石鏃	38-O-15 完形	長3.3 幅2.7 厚0.65 重4.8		黒色安山岩	形状が三角形となるもので、明確なつまみ部は作り出されていない。	
20-00175	石器 石鏃	49-S-10 ほぼ完形	長3.7 幅2.8 厚0.75 重8.6		黒色安山岩	剝離は最小限にとどめて形を作り出している。基部は丸みを帯びる。	
20-00176	石器 石鏃	48-O-2 ほぼ完形	長3.2 幅2.1 厚0.55 重3.1		黒色頁岩	先端部とつまみ部の一部を欠損するもので、刃部は細長く作り出されている。	
20-00177	石器 石鏃	49-A-1 一部欠損	長4.6 幅2.45 厚0.8 重9.1		珪質頁岩	素材となる剝片に最小限の調整を行い、形状を作り出している。	

富田下大日遺跡 諸元

遺構外出土遺物(7) - 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00178	石器 石筥	38-O-15 一部欠損	長4.95 厚1.25	幅4.1 重20.7	黒色安山岩	刃部と左側縁部を欠損する。刃部に最大幅を持つ。	
20-00179	石器 石筥	表土 完形	長4.95 厚1.1	幅2.9 重18.4	黒色頁岩	基部を欠損する。剝離調整は最小限にとどめ、形状を作り出している。刃部は丸みを帯びる。	
20-00180	石器 石匙	49-E-15 完形	長7.0 厚0.9	幅2.1 重10.7	珪質頁岩	縦長のもので、丁寧に剝離調整を行い、形状を作り出している。つまみ部も丁寧に作り出す。	
20-00181	石器 石匙	表土 一部欠損	長4.1 厚0.35	幅5.4 重9.2	黒色頁岩	三角形に近いもので、剝片に最小限の剝離調整を行って作り出している。	

遺構外出土遺物(18)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00182	石器 石匙	39-A-14 2/3残	長6.15 厚1.3	幅6.7 重39.9	黒色頁岩	つまみ部分を半分欠損するもので、刃部は丸みを帯びる。	
20-00183	石器 搔器	47-V層 完形	長7.40 厚1.10	幅5.60 重50.1	黒色頁岩	剝片の鋭い縁辺を刃部として使用し、最小限度の調整を行って形状を作り出している。裏面は原礫面をとどめる。	
20-00184	石器 搔器	38-P-15 完形	長6.60 厚1.00	幅4.30 重27.8	黒色頁岩	剝片の鋭い縁辺を刃部として使用し、最小限度の調整を行って形状を作り出している。裏面は原礫面をとどめる。	
20-00185	石器 搔器	39-A-14 完形	長8.8 厚1.65	幅8.4 重135.2	黒色頁岩	剝片の鋭い縁辺を刃部として使用し、最小限度の調整を行って形状を作り出している。裏面は原礫面をとどめる。	
20-00186	石器 搔器	49-C-1 完形	長8.05 厚2.00	幅7.40 重95.9	黒色頁岩	剝片の鋭い縁辺を刃部として使用し、最小限度の調整を行って形状を作り出している。裏面の一部に原礫面を残す。	
20-00187	石器 搔器	49-D-18 完形	長6.55 厚1.10	幅4.80 重31.3	黒色頁岩	表面に原礫面を残すもので、剝片の鋭い縁辺を刃部として使用している。	
20-00188	石器 搔器	38-R-16 完形	長6.35 厚1.05	幅9.35 重58.4	黒色頁岩	裏面に原礫面を残すもので、剝片の鋭い縁辺を刃部として使用している。	
20-00189	石器 搔器	39-E-17 完形	長4.70 厚2.10	幅10.70 重149.8	黒色頁岩	いわゆる横刃形石器で、表面にのみ剝離調整を加える。裏面は原礫面をそのまま残す。	
20-00190	石器 搔器	48-T-1 完形	長5.2 厚1.0	幅9.15 重51.6	黒色頁岩	表面に原礫面を残すもので、剝片の鋭い縁辺を刃部として使用している。	
20-00191	石器 搔器	48-O-1 完形	長4.65 厚0.95	幅6.35 重26.9	黒色頁岩	表面の上端に原礫面を残すもので、剝片の鋭い縁辺を刃部として使用している。	
20-00192	石器 搔器	48-S-10 完形	長5.25 厚2.65	幅11.30 重148.1	黒色頁岩	表面の上端に原礫面を残すもので、剝片の鋭い縁辺を刃部として使用している。	
20-00193	石器 搔器	48-O-1 完形	長8.3 厚2.4	幅8.9 重198.5	黒色頁岩	剝離調整を行い、形状を整えているもので、裏面にはほとんど調整を加えず、原礫面を残す。	
20-00194	石器 搔器	表土 完形	長7.15 厚2.41	幅10.8 重86.7	黒色頁岩	剝片の上端を剝離調整によって形状を整える。表面に大きく原礫面を残す。	
20-00195	石器 搔器	49-E-8 完形	長6.2 厚1.4	幅7.65 重69.4	細粒輝石安山岩	剝片の上端を剝離調整によって形状を整える。表面に大きく原礫面を残す。	
20-00196	石器 搔器	49-C-1 完形	長5.40 厚1.40	幅7.50 重53.3	黒色頁岩	調整剝離によって形状を三角形に整えるもので、裏面にも同様の調整を加えている。	

遺構外出土遺物(19)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00197	石器 搔器	48-S-7 完形	長4.30 厚0.90	幅6.30 重27.0	黒色頁岩	剝片の上端を剝離調整によって形状を整える。裏面側にも同様の調整を加えている。	
20-00198	石器 搔器	39-B-13 完形	長4.65 厚1.20	幅8.25 重53.5	灰色安山岩	両面に施した調整剝離によって形状を整える。表面の一部に原礫面が残る。	
20-00199	石器 搔器	49-G-16 完形	長4.80 厚1.35	幅10.05 重50.2	黒色頁岩	表面の上端に原礫面を残すもので、調整剝離によって形状を整えている。	
20-00200	石器 搔器	49-A-2 完形	長4.9 厚1.1	幅8.5 重1.5	細粒輝石安山岩	両面ともに調整剝離を施して、形状を整えてるもので、刃部は直線的に作り出している。	
20-00201	石器 搔器	表土 完形	長6.5 厚1.2	幅3.7 重30.5		剝片。剝離面の内側に刃部加工を施す。	
20-00202	石器 搔器	48-R-5 完形	長9.8 厚1.2	幅5.3 重72		剝片。剝離面の両側から刃部加工を施し、上部側にも剝離加工が認められる。	
20-00203	石器 磨製石斧	38-S-19 4/5残	長12.3 厚3.3	幅5.3 重383.6	変玄武岩	側面に面取りをするいわゆる定角式の磨製石斧で、器面は剝落が著しい。刃部は破損後敲打が加えられており、再加工もしくは敲石として再利用されたと考えられる。	
20-00204	石器 打製石斧	48-Q-1 完形	長11.65 厚2.55	幅5.0 重163.2	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面に大きく原礫面を残す。	
20-00205	石器 打製石斧	49-J-19 4/5残	長10.75 厚2.6	幅5.4 重175.5	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面に大きく原礫面を残す。	
20-00206	石器 打製石斧	59-G-1 4/5残	長9.80 厚2.55	幅5.10 重148.6	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、表面に大きく原礫面を残し、調整などは加えられていない。	
20-00207	石器 打製石斧	59-J-4 完形	長9.7 厚2.5	幅5.7 重144.6	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、表面に大きく原礫面を残す。	
20-00208	石器 打製石斧	49-K-16 完形	長8.90 厚1.90	幅6.35 重130.1	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面に原礫面を残す。	

遺構外出土遺物(20) - 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量	目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00209	石器 打製石斧	59-I-1 完形	長9.40 厚2.10	幅6.60 重146.5	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面は加工せず原礫面をそのまま残す。	
20-00210	石器 打製石斧	59-J-1 完形	長10.50 厚2.45	幅7.60 重184.6	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面に原礫面を残す。	

遺構外出土遺物(20)― 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00211	石器 打製石斧	49-E-17 一部欠損	長15.5 幅7.9 厚3.5 重432.7	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、表面に原礫面を残す。	
20-00212	石器 打製石斧	49-H-17 完形	長11.05 幅6.45 厚3.4 重235.6	黒色頁岩	礫に剝離を加え、形状を作り出したもので、裏面に原礫面を残す。	
20-00213	石器 打製石斧	48-T-2 一部欠損	長10.80 幅4.20 厚1.55 重90.0	細粒輝石安山岩	側縁が平行するいわゆる短冊形で、基部を破損する。刃部は擦痕が認められる。	
20-00214	石器 打製石斧	39-C-19 ほぼ完形	長10.10 幅4.25 厚2.30 重107.9	黒色頁岩	側縁が平行するいわゆる短冊形で、基部を破損する。表面に原礫面を残す。	
20-00215	石器 打製石斧	38-P-20 完形	長10.20 幅4.65 厚1.70 重94.7	黒色頁岩	側縁が平行するいわゆる短冊形で、表面基部に原礫面を残す。刃部は擦痕が認められる。	
20-00216	石器 打製石斧	表土 完形	長14.8 幅4.75 厚1.9 重184.1	灰色安山岩	側縁が平行する短冊形だが基部よりの両側縁部に挟りが入る。刃部から基部に擦痕を確認。裏面に大きく原礫面を残す。	
20-00217	石器 打製石斧	39-B-20 一部欠損	長13.80 幅4.80 厚1.70 重125.6	灰色安山岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、側縁部は直線的に開く。刃部に擦痕が認められる。	
20-00218	石器 打製石斧	48-Q-4 完形	長14.05 幅4.9 厚1.85 重135.2	黒色頁岩	両面ともに原礫面を残さない。側縁部はやや外反する。刃部には擦痕が認められる。	

遺構外出土遺物(21)

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00219	石器 打製石斧	38-P-20 完形	長10.9 幅4.75 厚1.8 重84.3	黒色頁岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、両面ともに原礫面を残さない。刃部は直刃で刃部に擦痕が認められる。	
20-00220	石器 打製石斧	38-O-20 完形	長10.85 幅4.50 厚1.85 重90.0	黒色頁岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、両面ともに原礫面を残さない。刃部は丸刃で刃部に擦痕が認められる。	
20-00221	石器 打製石斧	表土 完形	長9.50 幅4.0 厚1.5 重59.0	砂岩	刃部にわずかに最大幅を持つもので、表面に原礫面を残す。刃部は丸刃である。	
20-00222	石器 打製石斧	表土 完形	長14.2 幅5.6 厚1.6 重142.4	黒色頁岩	側縁にごく浅く挟り入るもので、表面には原礫面が残る。刃部に擦痕が認められる。	
20-00223	石器 打製石斧	38-T-19 ほぼ完形	長11.5 幅4.7 厚1.7 重86.7	黒色頁岩	側縁にごく浅く挟り入るもので、表面には原礫面が残る。刃部に擦痕が認められる。	
20-00224	石器 打製石斧	38-R-18 完形	長11.75 幅4.4 厚1.4 重64.6	細粒輝石安山岩	側縁にごく浅く挟り入るもので、表面には大きく原礫面が残る。	
20-00225	石器 打製石斧	33住覆土 完形	長14.0 幅5.30 厚2.15 重162.6	黒色頁岩	表面に大きく原礫面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。刃部に擦痕が認められる。	
20-00226	石器 打製石斧	48-Q-3 完形	長10.60 幅4.25 厚1.70 重74.2	黒色頁岩	表面に原礫面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。	
20-00227	石器 打製石斧	39-D-19 完形	長11.05 幅4.25 厚1.65 重73.6	黒色頁岩	表面に原礫面を残す。左側縁は外反し、右側縁は内湾する。	
20-00228	石器 打製石斧	表土 完形	長10.6 幅4.7 厚1.35 重77.4	灰色安山岩	刃部に最大幅を持つ側縁部が直線的に開くもので、表面に大きく原礫面を残す。刃部には擦痕が認められる。	
20-00229	石器 打製石斧	49-B-8 ほぼ完形	長8.60 幅4.50 厚1.20 重55.3	灰色安山岩	刃部に最大幅を持つ側縁部が直線的に開くもので、表面に大きく原礫面を残す。刃部には擦痕が認められる。	
20-00230	石器 打製石斧	49-B-1 4/5残	長11.55 幅5.15 厚1.6 重93.9	灰色安山岩	刃部に最大幅を持つもので、表裏面とも原礫面を残さない。刃部には擦痕が認められる。	

遺構外出土遺物(22)

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00231	石器 打製石斧	49-C-1 完形	長9.8 幅4.9 厚1.7 重83.8	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。表面に原礫面を残す。	
20-00232	石器 打製石斧	48-Q-4 完形	長9.50 幅4.25 厚1.35 重71.3	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。表面に原礫面を大きく残す。	
20-00233	石器 打製石斧	39-B-20 ほぼ完形	長8.15 幅3.90 厚1.20 重44.6	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁はやや外反する。裏面の基部に一部、原礫面を残す。	
20-00234	石器 打製石斧	49-E-17 完形	長14.35 幅6.80 厚2.25 重228.8	黒色頁岩	両面ともに原礫面を残さない。刃部は丸刃である。	
20-00235	石器 打製石斧	49-C-10 完形	長12.4 幅5.9 厚1.9 重136.9	黒色頁岩	両側縁はわずかに挟りが入る。丸刃で、表面に原礫面を残す。刃部には擦痕が認められる。	
20-00236	石器 打製石斧	33住覆土 完形	長11.5 幅4.85 厚1.85 重98.0	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、表面に原礫面を残す。刃部は丸刃で、擦痕が残る。	
20-00237	石器 打製石斧	39-C-18 一部欠損	長11.15 幅4.40 厚1.35 重76.9	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、両側縁にわずかに挟りが入る。刃部に擦痕が認められる。	
20-00238	石器 打製石斧	48-S-2 ほぼ完形	長11.55 幅4.60 厚0.95 重56.4	黒色頁岩	表面に大きく原礫面を残すもので、基部よりの両側縁部に浅く挟りを入れる。	
20-00239	石器 打製石斧	38-R-19 4/5残	長10.20 幅4.65 厚1.15 重58.4	黒色頁岩	刃部に最大幅を持つもので、側縁に浅い挟りが入る。刃部は丸刃で、擦痕が残る。	
20-00240	石器 打製石斧	38-S-19 完形	長10.5 幅5.15 厚1.4 重85.4	黒色頁岩	両側縁に浅いが挟りが入る。刃部は偏刃で擦痕が認められる。	
20-00241	石器 打製石斧	38-R-19 完形	長14.3 幅6.2 厚2.3 重191.2	黒色頁岩	両側縁に浅い挟りが入る。刃部は偏刃であら、表面に大きく原礫面を残す。	

遺構外出土遺物(23)― 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器 種	出土層位 遺 存 度	度 目 (cm) 量 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00242	石器 打製石斧	48-O-6 完形	長17.05 幅8.20 厚1.80 重224.9	黒色頁岩	両側縁にやや深めに挟りを入れるもので、素材の剥片の形状を利用しており、調整剝離は最小限にとどめている。	
20-00243	石器 打製石斧	48-Q-3 完形	長12.2 幅6.8 厚2.15 重187.2	黒色頁岩	両側縁にやや深めに挟りを入れる。刃部は直刃となる。原礫面は裏面に残る。	
20-00244	石器 打製石斧	48-P-3 一部欠損	長12.60 幅6.10 厚2.20 重181.5	黒色頁岩	両側縁に深く挟りを入れる。刃部は丸刃となる。表面に原礫面が残る。	

遺構外出土遺物(23) - 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00245	石器 打製石斧	38-R-16 4/5残	長14.40 幅10.20 厚3.20 重496.0	長黑色頁岩	両側縁にやや深めに抉りを入れる。刃部はやや丸刃となる。表面に原礫面が残る。	
20-00246	石器 砥石	38-T-19 完形	長10.80 幅5.15 厚2.15 重53.7	軽石	板状で形状は四角形に近いもので、表裏面を砥石の面として使用している。	
20-00247	石器 砥石	39-C-16 1/2残	長5.15 幅5.25 厚1.85 重18.2	軽石	板状で、形状は四角形になると推定される。表裏面を使用している。	
20-00248	石器 砥石	38-P-20 1/4残	長8.4 幅7.6 厚1.9 重81.7	粗粒輝石安山岩	破片であるが、形状は楕円形となるものと考えられる。表裏面に複数の溝跡が確認できる。	
20-00249	石器 砥石	48-T-5 4/5残	長5.75 幅4.65 厚1.15 重38.0	粗粒輝石安山岩	板状のもので、形状は楕円形となるもので、表裏面を使用している。	
20-00250	石器 砥石	39-C-19 2/3残	長9.5 幅6.05 厚2.0 重186.1	砂岩	板状のもので、形状は楕円形となるもので、表裏面を使用している。	
20-00251	石器 敲石	59-L-2 完形	長11.5 幅3.55 厚3.1 重219.4	変質玄武岩	棒状のもので、下端部と裏面に敲打痕が確認できる。また表面や側面に磨面も確認できる。	

遺構外出土遺物(24)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00252	石器 敲石	49-G-14 ほぼ完形	長13.95 幅6.25 厚3.90 重494.1	ホルンフェルス	表裏面と端部に敲打痕が認められる。表裏面と側面を磨面としても使用している。	
20-00253	石器 敲石	49-D-14 4/5残	長13.35 幅5.95 厚5.00 重538.2	変質玄武岩	下端部は欠損している。側縁部に敲打痕が認められる。表裏面と側面に磨面が残る。	
20-00254	石器 敲石	49-D-15 4/5残	長11.0 幅7.6 厚4.2 重562.0	粗粒輝石安山岩	板状に近いもので、下端部は欠損する。側縁部と裏面に敲打痕が認められ、表裏面、側面は磨面として使用。	
20-00255	石器 敲石	48-Q-4 3/5残	長9.80 幅7.80 厚5.10 重554.8	石英閃緑岩	棒状のもので、先端に敲打痕が集中している。平らな裏面は磨面としても使用している。	
20-00256	石器 磨石	38-S-20 完形	長15.75 幅6.7 厚5.05 重671.2	長粗粒輝石安山	棒状のもので、横断面は三角形となる。表裏面を磨面として顕著に使用し、擦痕が観察される。	
20-00257	石器 磨石	49-A-13 完形	長14.1 幅5.8 厚4.9 重554.1	粗粒輝石安山岩	やや不定形な棒状を呈するもので、表裏面と平らな両側面を磨面として使用している。	
20-00258	石器 磨石	48-T-1 一部欠損	長20.80 幅7.35 厚5.50 重1127.1	粗粒輝石安山岩	棒状で、表裏面を磨面として使用している。また輪切り状に5分割されて、破砕されている。	
20-00259	石器 磨石	47-V層 完形	長15.60 幅6.35 厚4.25 重617.2	溶結凝灰岩	棒状で、表裏面と側面を磨面として使用している。	

遺構外出土遺物(25)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00260	石器 磨石	48-Q-3 完形	長4.90 幅4.40 厚3.85 重88.4	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので、丸みを帯びる器面全体を磨面として使用している。	
20-00261	石器 磨石	一括 完形	長4.62 幅4.25 厚3.5 重90.1	石英閃緑岩	球状に近いもので、表裏面と右側面を磨面として使用している。また側縁に敲打痕が認められる。	
20-00262	石器 磨石	48-P-1 完形	長3.85 幅3.2 厚2.75 重44.9	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので、表裏面と右側面を磨面として使用している。使用は顕著で器面が滑らかになっている。	
20-00263	石器 磨石	48-N-2 完形	長4.9 幅4.1 厚3.5 重81.5	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので、表裏面を磨面として使用している。	
20-00264	石器 磨石	39-A-18 完形	長4.40 幅2.40 厚2.20 重31.8	珪質頁岩	厚みのある楕円形のもので、表裏面と右側面に磨面がある。磨面部分は使用のため器面が滑らかとなっている。	
20-00265	石器 磨石	59-L-2 完形	長5.35 幅4.45 厚3.30 重109.3	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表裏面と右側面を磨面として平らに使用する。	
20-00266	石器 磨石	48-Q-3 完形	長5.7 幅5.7 厚3.5 重96.4	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表裏面と右側面を磨面として使用する。風化が著しい。	
20-00267	石器 磨石	48-Q-4 完形	長5.7 幅3.8 厚3.5 重89.7	粗粒輝石安山岩	厚みのある不定形なもので、表裏面と両端と両側面を磨面として使用する。	
20-00268	石器 磨石	表土 完形	長7.50 幅4.35 厚3.10 重119.1	流紋岩	厚みのある三角錐状の形状のもので、表裏面と下端面を磨面として使用する。	
20-00269	石器 磨石	49-G-17 完形	長6.25 幅5.70 厚5.45 重276.4	粗粒輝石安山岩	球状に近いもので、表裏面と右側面を磨面として使用している。磨面は平らに磨かれている。	
20-00270	石器 磨石	49-F-13 完形	長9.75 幅8.95 厚6.30 重752.7	粗粒輝石安山岩	厚みのある球状に近いもので、表裏面を磨面として使用している。裏面と側縁に敲打痕が確認できる。	
20-00271	石器 磨石	47-V層 ほぼ完形	長7.95 幅7.4 厚6.3 重487.0	花崗岩	球状に近いもので、表裏面を磨面として使用している。上端部に敲打痕が確認される。	
20-00272	石器 磨石	45-O-1 完形	長9.2 幅7.4 厚4.3 重282.5	粗粒輝石安山岩	不定形のやや厚みのあるもので、表裏面と下端面を磨面として使用している。	
20-00273	石器 磨石	59-L-1 完形	長10.6 幅9.3 厚5.2 重744.3	石英閃緑岩	不定形のやや厚みのあるもので、表裏面と両側面を磨面として使用している。磨面は平らに磨かれている。	
20-00274	石器 磨石	39-C-20 完形	長7.7 幅6.4 厚4.15 重225.7	粗粒輝石安山岩	やや厚みのあるもので、表裏面と右側面を磨面として使用する。	

遺構外出土遺物(26) - 1

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00275	石器 磨石	49-H-14 2/3残	長8.3 幅6.5 厚3.45 重43.6	粗粒輝石安山岩	楕円形のもので、表裏面を磨面として使用する。側縁の一部に敲打痕が認められる。	
20-00276	石器 磨石	39-E-14 1/2残	長6.5 幅7.1 厚4.05 重257.0	粗粒輝石安山岩	表裏面を磨面して使用する。側縁には敲打痕が認められる。側縁は面取りされている。	
20-00277	石器 磨石	49-G-20 完形	長6.05 幅2.9 厚1.6 重41.8	黑色頁岩	板状の楕円形のもので、表裏面を磨面として使用している。磨面には擦痕が認められる。	
20-00278	石器 磨石	48-Q-3 完形	長5.55 幅4.2 厚2.1 重66.2	粗粒輝石安山岩	板状の楕円形のもので、表裏面を磨面として使用している。	

遺構外出土遺物(26) - 2

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00279	石器 磨石	49-B-5 完形	長5.40 幅5.00 厚2.05 重81.1	粗粒輝石安山岩	板状の楕円形のもので、表裏面を磨面として使用している。裏面には溝状の窪みがある。	
20-00280	石器 磨石	48-Q-4 完形	長6.1 幅5.6 厚3.0 重113.7	粗粒輝石安山岩	楕円形で、表裏面に磨面を持つもので、表面には敲打痕が認められる。	
20-00281	石器 磨石	49-A-10 完形	長5.9 幅5.5 厚3.2 重122.4	粗粒輝石安山岩	楕円形で、表裏面に磨面を持つもので、裏面と側縁に敲打痕が認められる。	
20-00282	石器 磨石	表土 完形	長6.15 幅4.85 厚2.0 重86.0	閃緑岩	板状の不定形のもので、表裏面と右側面を磨面として使用している。	
20-00283	石器 磨石	表土 完形	長7.40 幅4.65 厚2.25 重99.1	溶結凝灰岩	不定形のもので、表裏面を磨面として使用している。表裏面には擦痕が認められ、表面には溝状の窪みがある。	
20-00284	石器 磨石	38-O-20 完形	長6.40 幅3.90 厚2.85 重92.7	流紋岩	表裏面を磨面して使用する。両端部には集中して敲打痕が認められ、敲石としても使用されている。	
20-00285	石器 磨石	38-S-5 完形	長6.95 幅4.6 厚3.25 重156.2	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面に磨面を持つている。磨面は健著に使用され、器面は滑らかになっている。	
20-00286	石器 磨石	59-I-1 完形	長7.5 幅4.9 厚3.7 重177.2	閃緑岩	不定形で表裏面を磨面として使用している。	
20-00287	石器 磨石	59-T-2 完形	長8.85 幅4.90 厚3.65 重205.2	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面と右側面を磨面として使用している。	
20-00288	石器 磨石	48-S-7 完形	長11.05 幅4.35 厚2.7 重209.2	石英閃緑岩	楕円形で表裏面と左側面を磨面として使用している。磨面は使用のため滑らかになっている。	
20-00289	石器 磨石	49-A-10 完形	長9.00 幅5.50 厚3.10 重225.2	珪質安山岩	楕円形で表裏面を磨面として使用、滑らかな器面にしている。又磨面としては確認できないが、側面も磨かれている。	
20-00290	石器 磨石	49-G-13 完形	長12.1 幅7.1 厚3.8 重470.8	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面を磨面として使用している。器面は使用のため滑らかになっている。	

遺構外出土遺物(27)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00291	石器 磨石	48-N-4 完形	長9.60 幅8.20 厚4.60 重483.	粗粒輝石安山岩1	楕円形で表裏面を磨面として使用している。器面は使用のため滑らかになっている。	
20-00292	石器 磨石	49-E-18 完形	長10.2 幅9.45 厚3.8 重526.3	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面を磨面として使用している。器面は平らに磨きこまれており、健著な使用のため滑らかになっている。	
20-00293	石器 磨石	38-S-19 V層完形	長12.1 幅8.0 厚4.3 重594.4	石英閃緑岩	楕円形で表裏面を磨面として使用している。	
20-00294	石器 磨石	38-T-19 完形	長13.05 幅9.8 厚4.5 重887.0	閃緑岩	楕円形で表裏面を磨面として使用している。磨面は平らに良く磨かれている。	
20-00295	石器 磨石	47-V層 完形	長11.60 幅9.25 厚4.60 重714.1	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面に磨面を持つている。表裏面に擦痕が観察できる。表面には敲打痕が認められる。	
20-00296	石器 磨石	49-F-13 完形	長10.7 幅6.75 厚4.0 重315.5	蛇紋岩	表裏面を磨面として使用し、また表裏面の中央付近には敲打を加えている。被熱しており部分的に表面が剥落している。	
20-00297	石器 磨石	49-E-15 完形	長12.5 幅9.4 厚4.1 重655.7	粗粒輝石安山岩	表裏面が良く磨面として使用されており、器面が光沢を持つ。両面中央付近には敲打の痕跡がある。	
20-00298	石器 磨石	39-B-20 完形	長12.5 幅7.2 厚3.6 重486.3	粗粒輝石安山岩	楕円形で表裏面を磨面として使用している。器面は使用のため滑らかになっている。両面中央付近に敲打痕が認められる。	

遺構外出土遺物(28)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00299	石器 凹石	表土 4/5残	長10.4 幅6.5 厚3.9 重295.9	粗粒輝石安山岩	表裏面と両側面に1箇所ずつ凹部を持ち表面は磨面としても使用。裏面中央には敲打痕を確認。側面は面取りされている。	
20-00300	石器 叩石	38-T-13・ 49-C-1	長12.75 幅6.9 厚3.95 重295.9	粗粒輝石安山岩	表裏面に1箇所ずつ浅い凹部を持つ。両面は磨面としても使用される。側面は面取りがなされている。	4/5残
20-00301	石器 凹石	49-P-12 一部欠損	長7.85 幅6.35 厚5.0 重265.5	粗粒輝石安山岩	表面に1箇所凹部を持つ。表裏面と右側面は磨面として使用している。	
20-00302	石器 凹石	59-K-3 完形	長9.8 幅5.35 厚3.8 重236.3	粗粒輝石安山岩	表裏面に1箇所ずつ凹部を持つ。表裏面の中央と上端部に敲打が加えられる。表裏面と両側面は磨面として使用。	
20-00303	石器 凹石	59-I-2 完形	長9.3 幅8.0 厚4.7 重431.3	粗粒輝石安山岩	裏面の中央に1箇所凹部を持つ。表裏面の中央部分に敲打痕が残り、又磨面として使用。側縁部は面取りがされている。	
20-00304	石器 凹石	49-F-18 完形	長10.4 幅7.15 厚4.1粗 重448.9	粗粒輝石安山岩	表面に2箇所浅い凹部が認められる。裏面の中央には敲打が加えられる。表裏面は磨面として使用されている。	
20-00305	石器 凹石	39-B-20 完形	長11.2 幅7.35 厚4.1 重361.4	粗粒輝石安山岩	表面に2箇所、裏面に3箇所凹部が認められる。表裏面は磨面として使用され、中央には敲打の痕跡が認められる。	
20-00306	石器 凹石	39-E-20 完形	長10.5 幅8.7 厚4.8 重521.4	粗粒輝石安山岩	表面に2箇所、裏面に1箇所浅い凹部が認められる。表裏面は磨面として使用され、敲打の痕跡が認められる。	
20-00307	石器 凹石	49-D-16 2/3残	長9.1 幅7.4 厚3.4 重282.8	粗粒輝石安山岩	板状のもので、表面に1箇所、裏面に2箇所凹部が認められる。表裏面は磨面として使用されている。	
20-00308	石器 凹石	49-F-10 完形	長12.0 幅9.25 厚6.4 重895.4	粗粒輝石安山岩	表面に4箇所、裏面に1箇所、凹部が認められる。表裏面は磨面として使用され、敲打痕も認められる。	

遺構外出土遺物(29)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 量 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00309	石器 石皿	39-S-19 4/5残	長29.8 幅26.5 厚8.5 重7598.3	粗粒輝石安山岩	縁付きのもので、手前は縁を付けずに掻きだし口としている。裏面には凹部を複数持つ。	
20-00310	石器 石皿	38-T-19 1/2残	長24.9 幅26.35 厚7.3 重4941.2	粗粒輝石安山岩	縁付きのもので、両端を欠損するため形状は不明である。裏面には凹部を複数持つ。	

遺構外出土遺物(30)

遺物番号 図版番号	遺物種 器種	出土層位 遺存度	度 目 (cm) 目 (g)	焼成・色調・胎土 (石素材は度目値)	形状・技法等の特徴	摘 要
20-00311	石器 石皿	49-G-20 完形	長32.10 幅25.7 厚7.00 重7,608.60	粗粒輝石安山岩	縁なしのもので、表面は平坦となっている。裏面には凹部と敲打痕が認められる。	
20-00312	石器 石棒	表採 完形	長40.5 幅15.5 厚14.7 重12,000	デイサイト	大型円柱状。頭部は平端加工。基部は形状を整えるため敲打整形。敲打を集中して加えられた痕跡が認められる。	



群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第372集

富田漆田遺跡富田下大日遺跡群 《本文編》

一般国道17号(上武国道)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2006年(平成18年)3月3日 印刷

2006年(平成18年)3月13日 発行

編集・発行／(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社